

# "GAMES OVER"

トラックの現状やこの先の課題をお伝えした前回ですが、第二回目からはもう少し具体的な内容、というか実際の作業に入りたいと思います。そこで、まず取りかかったのは以前からトラブルを起こしていたライト周りの点検とHID取り付け、などなど、他にもここ2ヶ月の間にはイロイロなことがありました!という訳で、早速レポートスタートです!

Text & photographs by SHINGO TAKESHITA special thanks to JOINTZ custom 0299-48-0782 / FLIP'S 048-796-6678 <http://flipscustomz.com/>  
SEEK automobile SEEK automobile 0299-24-0419 [www.seekautomobile.jp/](http://www.seekautomobile.jp/) HEART NET 0570-06-4147 [www.heartnet.info](http://www.heartnet.info)

## HID取り付け&この先の計画

結婚して、D22と暮らして早いものでもう一年。東北から東京に引っ越して来たトラックは、普通の通勤や遠出するためには今や、欠かせないパートナー。

でも、くどいようだけど、都内で車を維持するのって本当にそう楽じゃなくて、月々の駐車場代は¥31,500。それに12ヶ月をかければ=¥37,8000。一年間で駐車場に37万を消費しているのってどうなの? 幸い今はお互い共働きでなんとかなっているけど、実際、東京でトラックを維持するのに大変なのはお金の問題だけじゃなかったり。

どこに行くのにも駐車場代は高いし、なにより渋滞が辛い。そして、何よりイロイロ面倒くさい。やっぱり普通の移動手段となると、どうしても電車か地下鉄になってしまいますね。だけど、実際「トラックを売る!」って話しにはなっていないのはせめてもの救い。でも、そのうち「乗用ガソリン車は週末のみの運転を許可する」なんて条例が出来なければいいんですが…(笑) まあ、そんな話をしてもしょうがないし、今の自分たちは好きなことをやらせてもらっているのでヨシとします。ただ、たかがクルマ一台でこれだけ生活を圧迫してしまうメトロポリスは、正直怖いですね! 以上、今回のグチ。

さて、勝手に前置きを長くしてしまいましたが、そんなマイナス要因をを少しでも明るく、前向きに考えていこう! ということで、今回のD22日記ではHIDを取り付けたいと思います。と言っても、自分はHIDが付いたクルマに乗るのは人生初。それでもHID化のキッカケは、

ヘッドライトを明るくしたいから! という単純なものに加え、「純正っぽい色で」というわがままも加わっています。

で、ネットでイロイロ調べてみると、HIDって実に沢山のメーカーさんから発売されていて、値段もピンキリなんです。まず、自分のトラックに合うタイプはH4型、そして「色」=ケルビン(K)数は純正っぽい色ならば4300Kですよ! と、ASVの竜一君から情報をゲット。あとは、メーカーさんですが、やっぱりここは神奈川県のハートネットさんの扱う「CRUIZE」に決定。だって昔からのクライアントさんだし、何よりトラックや旧車、カスタムカーまで対応出来る豊富なラインナップ、そして安全性とコストパフォーマンスは非常に魅力的です。あと、雑誌の人間がいうのもアレですが、高速有鉛さんでもその昔、企画が組まれていました。こういうのって、重要ですよ。

そこで、GWまったただ中だというのに、メーカーさんにムリを言って商品を購入。早速、隣のページからは取り付けレポートを紹介していきたいと思います! ちなみに、HIDを取り付けたことによって、この先イロイロやりたいことも出てきました。まずはバンパー、グリルといった顔周りのリフレッシュ! これは静岡県県の「カープロダクト」佐藤さんから連絡をいただき、現在思案中。あとはサスペンションやらオーディオやら、僕のトラック、いやいや嫁と二人三脚で進めるD22プロジェクトはこの先もマイペースに進む予定です。お楽しみに!!

## “純正” ぼさを 損なわず 光量UP!

無知な自分はHIDって聞くと“青白い”光を想像してしまいましたが、今はちゃんと“純正”や“旧車”ぼさを損なわないキットが存在しているみたい。今回取り付けしたのはハートネットが扱う「CRUIZE」ブランドのなかからH4バルブ車をターゲットにしたH4 Hi/Loのライドタイプ。取り付けはカプラーオン、もちろん車検対応品です!

### #001



キレイに梱包されたキットは一年間の保証付き、もちろん配線図を含む説明書も含まれているので、電気知識がある方ならば取り付けは可能だ。また、今回取り付けするH4ライドタイプはバックスペースが40mmと非常にコンパクトな設計で、ハイビームとロービームの切り替えがOK。カラーは右のチャートから“純正に近い”と思われる4300Kを選択しました。が、深にさらに良い感じのCLASSIC WHITEがあることも知ってしまっ...

### #002



いよいよ作業開始! まずはお約束のターミナルを外す、という面倒くさいのでバッテリー自体を移した。続いてヘッドライトに刺さっているカプラーを外して、既存のH4球を取り出しました。ここまでは難なく作業が完了! ターミナルも新品に交換したいな。

### #003



そして、ヘッドライトにHIDバルブを刺して、固定。という工程ですが、防水用のゴムを取り付けなければならぬのでイロイロと試行錯誤。結果、最初にゴムをバルブにハマて、そのままヘッドライト部分のピンでライトへ固定しました。この辺は車種によって取り付け方法はバラバラです。

### #004



ヘッドライトが原因不明で付かないという症状に悩まされたD22ですが、どうやら理由はココにあったようです。恐らくオールペイントした時に塗料がヘッドライトのカプラー部分に進入。ってこういうのを見ると本当恐ろしい。ターミナルをセサリて削って、端子復活スプレーをかけて、とりあえず応急処置しました。

### #005



バルブの取り付けが完了した後はバラストと呼ばれる安価なパーツとHi/Loコントローラーを設置し、それぞれを配線します。この作業は意外と厄介。自分はエンジンルームをシンプルにしたかったので各パーツと配線は極力隠す方向で、でもキットのバラストはアルミ製の専用コンパクト設計。専用のベセルも付属しているの、あえて見えるようにレイアウトしてみました。本当はバラストとカプラー、もうすこし配線をキレイに取り直したかったな。

### #007



### 取り付け完了!

勢いで取り付けしたHIDですが結果的にかなり満足しています。また「H4に強い」というメーカーだけに、今回購入したH4ソレノイドタイプは発熱量も低く、耐久性にも期待が見込めるもの。その数値はハロゲンバルブの約5倍の長寿命、発熱温度は25%減さらに3倍の明るさという良いことづくし。そして、何よりH4を多く採用しているミニトラックにおいてはHi/Loの切り替えが出来ると、さらにイメージを大事にした色の選択が増えたことも。また、キットは車検にも適合しており、1年間の保証があるのも◎

### #006



取り付け完了! 都合により作業ができる時間は3時間程度でしたが、それでも余裕を持って取り付け出来るくらい純正からのHID化は簡単でした。また、CRUIZEのキットは不要な光を徹底的にカットするらしく、視界性の向上・明るさはそのままに、対向車に迷惑をかけないよう工夫されているみたい。今回はその性能に甘んじて、あいまで簡単に光軸調整を行いました。

## 一応、少しずつイメージもまとまりつつあります…。

あえてカスタムをする必要もない? と思ってしまうぐらいトラックの現状(あくまで外観)に満足している自分。ですが、せめてサスペンションやウィール、ボディカラーやインテリアなど一通り手を加えていきたい。非常に解り辛いですが、取り急ぎ僕のイメージはこんな感じなんです。



車高を含め、全体の感じは写真のマップみたいなのが理想。ボディはあくまでストック車種。ペイントはハイペースなホワイトかブラック。インテリアは今よりも少し明るめなグリーンが良い。キャビン後ろにはオーディオを搭載予定。そして足取りは「エアサス!」というのが望みです。個人的にはウィールは14~15インチワイヤー、それもあまりみかけないブランドにバレットキャップのコンビ。タイヤはどうしようかなー。